



循環型社会の構築

GRI 102-15, 303-1, 306-2

アイシンでは、開発・生産・物流における環境負荷「ゼロ」をめざして、資源の有効活用やリサイクルできる商品の開発、生産や物流での資源循環の徹底、水資源の有効利用のための活動を、グループ一丸となって実施しています。

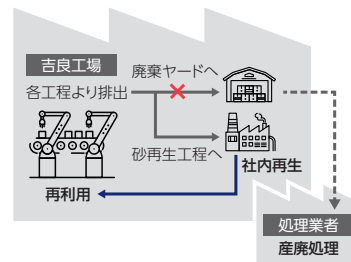
自社設備でのプラスチック有価化活動

アイシン半田工場にあるエコセンターでは、プラスチックを自社で分別・破碎し、質の高い材料として生まれ変わらせるマテリアルリサイクルを実施しています。この活動により、資源の循環を実現しております。



鋳物砂再生拡大による廃棄物低減

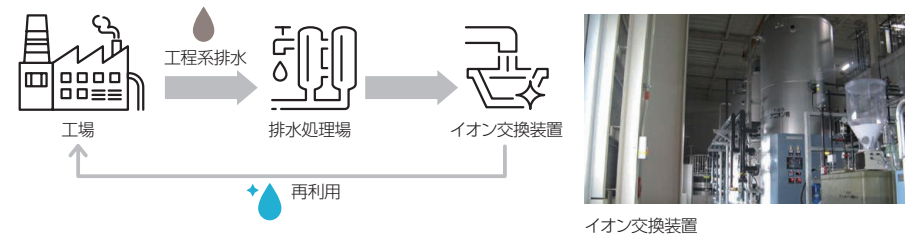
アイシン高丘吉良工場では、生産工程で排出される鋳物砂を再生し、社内・構内中子業者へ中子砂として供給をしています。これにより、年間1,594tの廃棄物低減を実現しました。



工程排水のリサイクル化

アイシン北海道では、水使用量・排出量を抑えるため、排水を処理した水を元の工業用水レベルに戻し、工場で再利用しています。導入することで約95%の再利用が可能となり、水使用量としては約50%削減できました。

アイシン北海道の他、アドヴィックス刈谷工場、アイシン藤岡試験場・豊頃試験場、アイシン辰栄幸田工場、ブラジルや中国でも水をリサイクルし、水使用量を削減する活動を行っています。大切な水資源を守るため、活動を進めています。



IPA(イソプロピルアルコール)の蒸留再生

アイシン半田工場では、廃棄物低減・副資材の購入費低減に向け、洗浄に利用したIPAの蒸留再生を行っています。蒸留再生をする前は、年間約1.2tの廃液が出ていましたが、溶剤再生装置を導入することで再利用が可能になっています。

